

2019年3月期 中間決算説明会



証券コード：2179

2018年12月6日

当社グループの事業について

教育関連事業

乳幼児から社会人までの教育および保育を基本とする教育企業

個別指導部門



主に講師1人が塾生2名を指導する個別指導



大学受験に特化した映像授業



完全マンツーマンの個別指導



受験に特化した個別指導



クラス指導部門



設定した目標を突破し
自信をつける
目標達成型進学指導



保育部門



認可保育所



小規模認可保育所



その他の指導部門

外国人留学生を対象に日本語教育



フィリピンにて日本人を対象に英語教育



小学生を対象にした学童保育



- 学校法人等への講師派遣
- 研修施設の運営
- その他、上記に関連する事業

不動産賃貸事業

保有不動産の
余剰スペースをテナント貸し

飲食事業

大阪市内に2店舗展開

損益の状況

(単位：百万円、%)

	前期実績	当期計画	当期実績	前期比	増減率	計画比	達成率
売上高	5,052	5,426	5,407	+354	+7.0	△18	99.7
営業利益	△323	△291	△114	+209	—	+177	—
利益率	△6.4	△5.4	△2.1	+4.3	—	+3.3	—
経常利益	△18	△23	65	+83	—	+88	—
利益率	△0.4	△0.4	1.2	+1.6	—	+1.6	—
四半期純利益	△33	△29	31	+64	—	+60	—
利益率	△0.7	△0.5	0.6	+1.2	—	+1.1	—

売上高	グループ在籍者数の増加、フランチャイズ教室数の増加により増収
営業利益	保育所開園等の先行投資負担の解消、人件費比率の改善、新規開校教室数の減少による設備投資費用の減少により増益
経常利益 四半期純利益	営業損益が向上したことにより増益

セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	前期実績	当期計画	当期実績	前期比	増減率	計画比	達成率
教育関連事業	4,981	5,350	5,342	+360	+7.2	△7	99.9
個別指導部門	3,171	3,375	3,370	+198	+6.3	△5	99.8
クラス指導部門	1,393	1,337	1,358	△35	△2.5	+20	101.6
保育部門	300	463	467	+167	+55.6	+4	100.9
その他の指導部門	116	174	146	+30	+26.5	△27	84.3
不動産賃貸事業	17	18	18	+0	+5.0	+0	100.7
飲食事業	53	58	47	△6	△12.6	△11	81.0

教育関連事業	個別指導部門	ブランドの特長を活かし塾生数の増加を図るとともに、フランチャイズ教室も順調に拡大し、前期比増収
	クラス指導部門	塾生数の減少が影響し前期比減収となるものの、計画の範囲内に収束
	保育部門	運営する保育所数の増加とともに園児数も増加したことにより、前期比・計画比ともに増加
	その他の指導部門	「開成アカデミー日本語学校」の学生数は予想通りに増加したものの、「Kaisei English Academy」の生徒数が計画に及ばず、計画未達
不動産賃貸事業		入居するテナントが増加したことから、前期比・計画比ともに微増
飲食事業		猛暑、台風等の天候不良の影響等により客足が伸びず減収

ブランド別売上高

(単位：百万円、%)

	前期実績	当期計画	当期実績	前期比	増減率	計画比	達成率
個別指導部門	3,171	3,375	3,370	+198	+6.3	△5	99.8
フリーステップ	2,879	2,962	2,950	+71	+2.5	△11	99.6
代ゼミサテライン予備校	189	250	253	+64	+34.2	+3	101.5
フランチャイズ事業	59	98	111	+52	+88.8	+12	112.9
その他のブランド	44	63	53	+9	+21.4	△10	84.1
クラス指導部門	1,393	1,337	1,358	△35	△2.5	+20	101.6
開成教育セミナー	1,342	1,291	1,310	△31	△2.4	+19	101.5
エール進学教室	51	46	47	△3	△7.1	+1	103.2
保育部門	300	463	467	+167	+55.6	+4	100.9
認可保育所	123	270	267	+143	+116.5	△3	98.7
小規模認可保育所	176	192	199	+23	+13.1	+7	104.0
その他の指導部門	116	174	146	+30	+26.5	△27	84.3

費用内訳

(単位：百万円、%)

	前期実績	当期計画	当期実績	前期比	増減率	計画比	計画比率
人 件 費	3,014	3,192	3,105	+91	+3.0	△ 86	97.3
売上高比	59.7	58.8	57.4	△ 2.2	—	△ 1.4	—
家 賃	738	801	772	+34	+4.7	△ 29	96.4
売上高比	14.6	14.8	14.3	△ 0.3	—	△ 0.5	—
広 告 宣 伝 費	222	259	213	△ 8	△ 3.9	△ 46	82.3
売上高比	4.4	4.8	4.0	△ 0.5	—	△ 0.8	—
そ の 他 費 用	1,401	1,464	1,430	+28	+2.0	△ 33	97.7
売上高比	27.7	27.0	26.5	△ 1.3	—	△ 0.5	—
原価・販管費合計	5,376	5,718	5,522	+145	+2.7	△ 196	96.6
売上高比	106.4	105.4	102.1	△ 4.3	—	△ 3.3	—

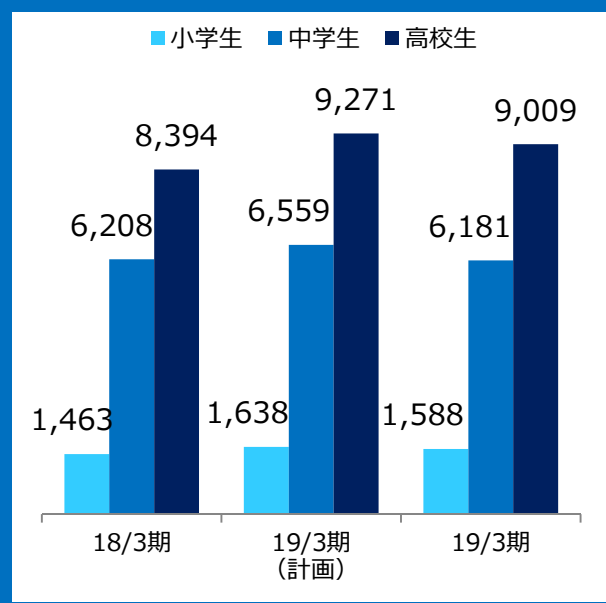
人 件 費	先行して採用していた人員が売上に寄与し、人件費比率は改善 人員配置の見直し等により全体的な人件費を圧縮
家 賃	教室数の増加により家賃も増加したものの、新規開校教室数が計画未達のため計画比減少
広 告 宣 伝 費	計画策定時に増額を見込んだものの、適時に適切な広告媒体を判断することでコスト圧縮
そ の 他 費 用	コストの必要性を適時に判断することにより、全体的に圧縮

グループ在籍者数の推移 (9月末時点)

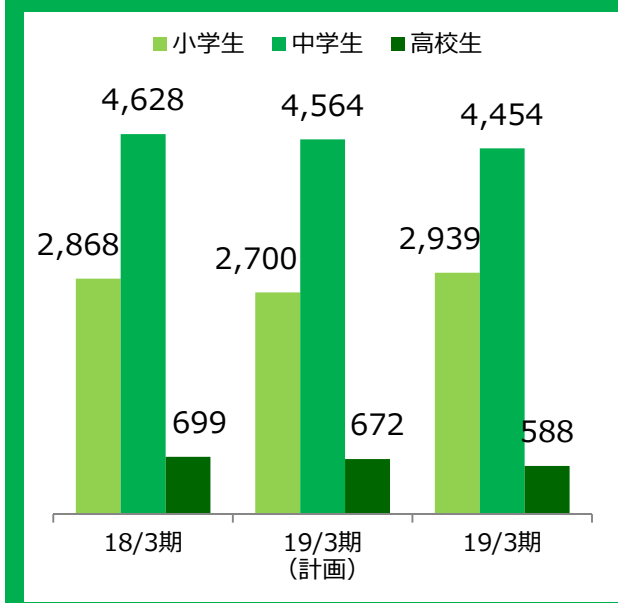
(単位：人・%)

	前期実績	当期計画	当期実績	前期比	増減率	計画比	達成率	
グループ在籍者数	24,735	26,015	25,347	+612	+2.5	△ 668	97.4	
直営教室	個別指導部門	16,065	17,468	16,778	+713	+4.4	△ 690	96.0
	クラス指導部門	8,195	7,936	7,981	△ 214	△ 2.6	+45	100.6
	保育部門	301	491	487	+186	+61.8	△ 4	99.2
	その他の指導部門	174	120	101	△ 73	△ 42.0	△ 19	84.2
フランチャイズ教室	923	1,342	1,392	+469	+50.8	+50	103.7	

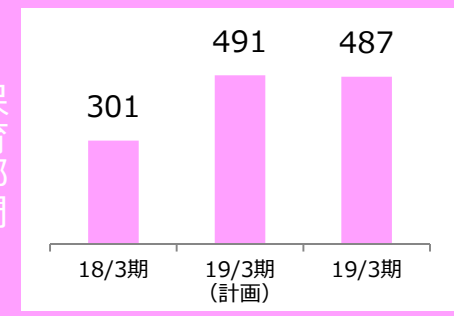
個別指導部門 (直営に限る)



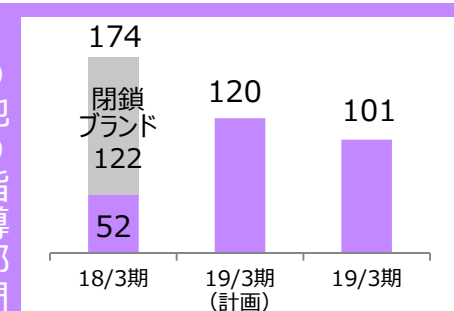
クラス指導部門



保育部門



その他の指導部門

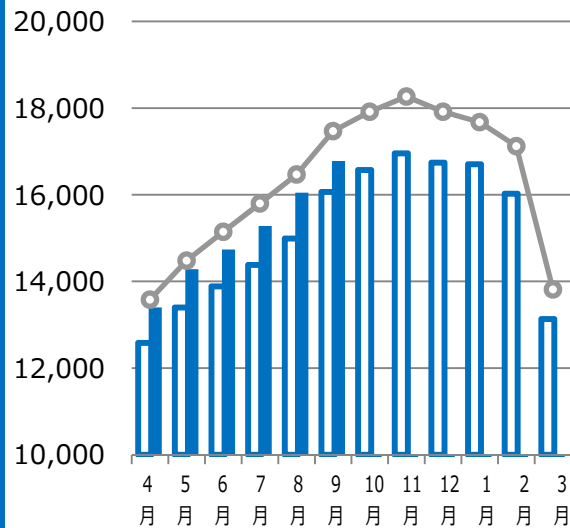


グループ在籍者数の月次推移 (直営に限る)

□ 前年 ○ 計画 ■ 実績

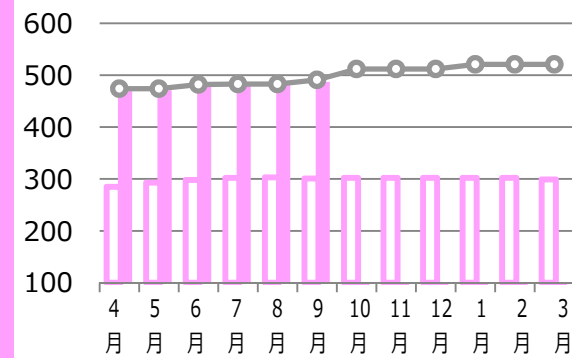
(単位：人)

個別指導部門



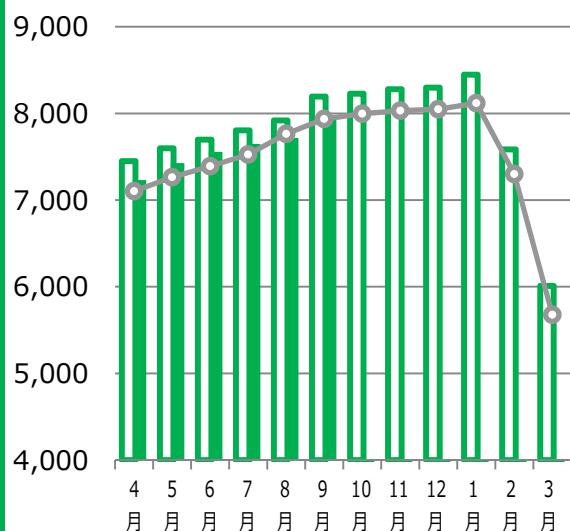
- 高校入学時の退塾者数が想定を超え、計画割れでスタート
- 5月に開講した「フリーステップサテラインコース」(44教室)の立ち上がり想定を下回る
- 計画には及ばないものの、高校生を中心に前期より塾生数を伸ばす

保育指導部門



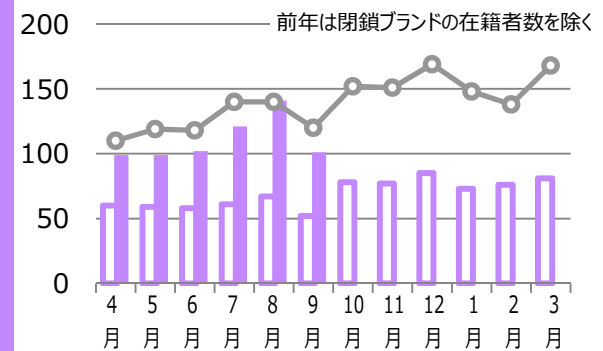
- 保育所数の増加および運営年数の経過による持ち上がり園児数の増加により前期比大幅増
- 保育所のニーズの高い地域での運営を通じてほぼ想定通りの園児数を確保

クラス指導部門



- 前年割れが続くものの、ほぼ想定範囲内で落ち着く
- 大阪市立中高一貫校に特化した「大阪市立中高一貫コース」を新設し、新規塾生を取り込む

その他の指導部門

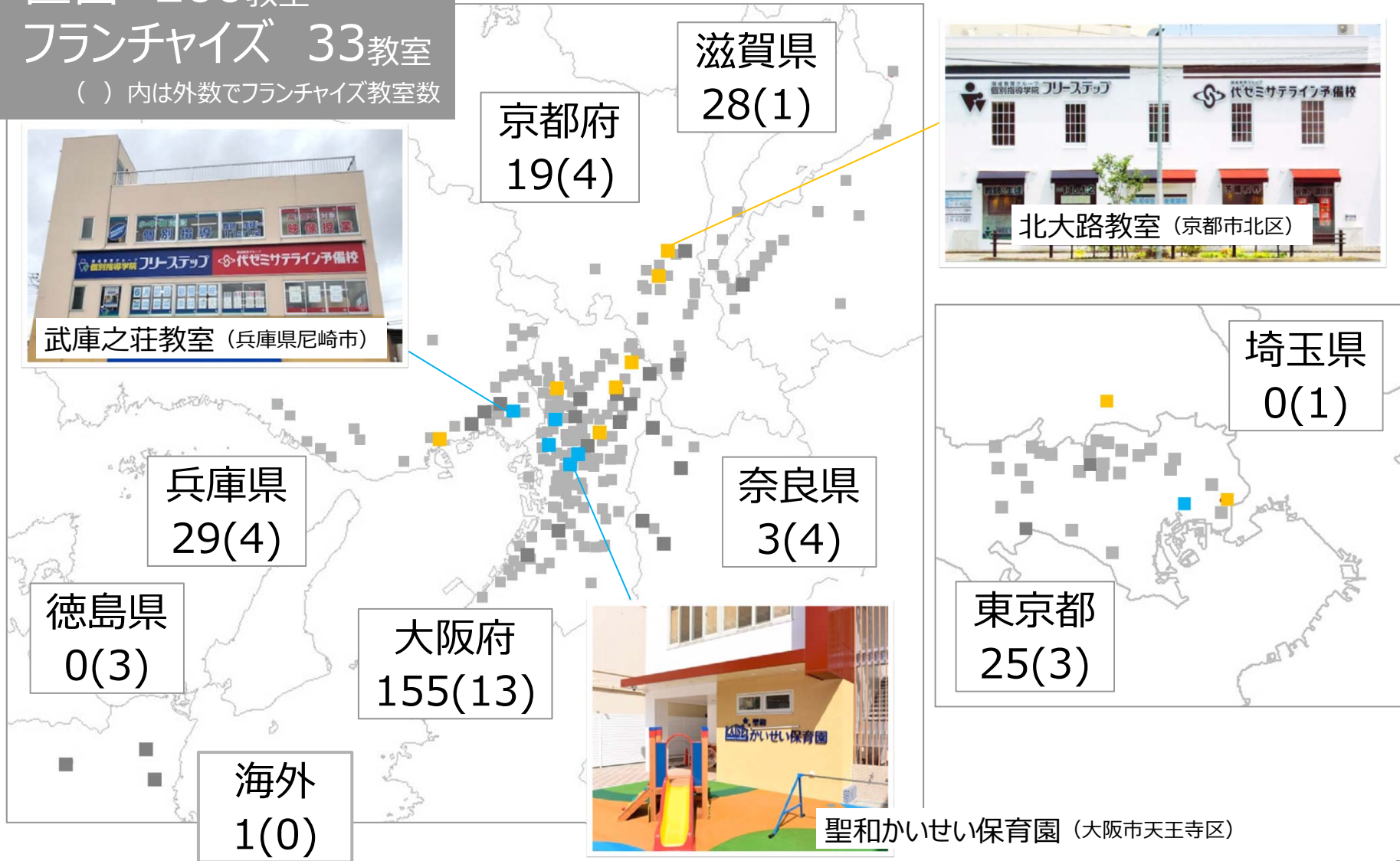


- 「開成アカデミー日本語学校」は開校2年目を迎え、2学年の学生が在籍することが可能となり、学生数は増加
- 「KEA」は学生の短期留学が主力となり、季節変動の影響を受ける

教室展開の状況①

直営 260教室
 フランチャイズ 33教室
 () 内は外数でフランチャイズ教室数

■ 既存教室 (直営) ■ 新規開校 (直営) ■ 既存教室 (FC) ■ 新規開校 (FC)



教室展開の状況②

(単位：箇所)

	直営教室					フランチャイズ教室				
	18/3期		19/3期			18/3期		19/3期		
	期末	増加	上期 減少	9月末	計画 9月末	期末	増加	上期 減少	9月末	計画 9月末
拠点数合計	256	6	2	260	265	24	9	0	33	31
大阪府	151	4	0	155	—	9	4	0	13	—
滋賀県	28	0	0	28	—	1	0	0	1	—
兵庫県	29	1	1	29	—	3	1	0	4	—
京都府	20	0	1	19	—	2	2	0	4	—
奈良県	3	0	0	3	—	4	0	0	4	—
東京都	24	1	0	25	—	2	1	0	3	—
埼玉県	0	0	0	0	—	0	1	0	1	—
海外	1	0	0	1	—	3	0	0	3	—
個別指導部門	203	2	3	202	208					
クラス指導部門	101	0	0	101	101					
保育部門	11	4	0	15	15					
その他の指導部門	3	0	0	3	3					

(注) 複数部門の指導形態を開講する教室（併設教室）があるため、各部門の合計と拠点数は一致しません。

新規開校・開園





(兵庫県) 武庫之荘 (東京都) 門前仲町



(大阪府) 聖和・吉野・東成



(大阪府) 三国本町



(フランチャイズ)

(大阪府) 桃山台・光善寺・牧野・門真南

(兵庫県) HAT神戸

(京都府) 西院・北大路

(東京都) 船堀

(埼玉県) 北戸田

貸借対照表・キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	第2四半期末	前期末	増減額		第2四半期	前期
流動資産	2,485	2,716	△ 230	営業活動による	123	△ 78
固定資産	5,372	5,271	+ 101	キャッシュ・フロー		
有形固定資産	3,971	3,813	+ 158	投資活動による	△ 259	△ 548
無形固定資産	134	141	△ 7	キャッシュ・フロー		
投資その他の資産	1,267	1,316	△ 49	財務活動による	224	468
資産合計	7,858	7,988	△ 129	キャッシュ・フロー		
流動負債	3,113	3,693	△ 579	現金及び現金同等物に	△ 1	0
固定負債	2,409	1,960	+ 448	係る換算差額		
負債合計	5,522	5,653	△ 131	現金及び現金同等物の	86	△ 157
株主資本	2,329	2,327	+ 2	増減額		
資本金	235	235	—	現金及び現金同等物の	882	977
資本剰余金	175	175	—	期首残高		
利益剰余金	2,208	2,205	+ 2	現金及び現金同等物の	969	819
自己株式	△ 288	△ 288	—	期末残高		
その他の包括利益累計額	6	7	△ 0			
その他有価証券評価差額金	6	5	+ 0			
為替換算調整勘定	0	1	△ 1			
純資産合計	2,336	2,334	+ 1			
負債・純資産合計	7,858	7,988	△ 129			

(注) 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』を2019年3月期期首から適用しており、2018年3月期は遡って適用した後の値を記載しております。

業績見通し

(単位：百万円、%)

	前期実績	当期計画	前期比	増減率
売上高	11,243	12,027	+784	+7.0
営業利益	20	60	+40	+194.6
利益率	0.2	0.5	+0.3	—
経常利益	317	321	+4	+1.3
利益率	2.8	2.7	△0.1	—
当期純利益	102	166	+64	+63.3
利益率	0.9	1.4	+0.5	—

売上高	主に事業の成長が見込める個別指導部門、保育部門の成長による増収を見込む
営業利益	先行投資の負担軽減、人件費比率の改善等により増益を見込む
経常利益	営業利益の向上に加え、認可保育所開園に伴う補助金収入（営業外収入）の計上による増益を見込む
当期純利益	減損損失の負担軽減による増益を見込む

(注) グループ在籍者数は期首より月を追うほどに増加し11月にピークを迎えること、収益性の高い講習会を実施すること等により、第3四半期に利益が集中する傾向にあります。

セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

	前期実績	当期計画	前期比	増減率
教育関連事業	11,094	11,868	+774	+7.0
個別指導部門	7,307	7,732	+425	+5.8
クラス指導部門	2,946	2,842	△104	△3.5
保育部門	639	967	+327	+51.3
その他の指導部門	201	326	+125	+62.2
不動産賃貸事業	35	36	+0	+2.3
飲食事業	113	122	+9	+7.9

教育関連事業	個別指導部門	「フリーステップサテラインコース」開講の相乗効果による塾生数の増加、フランチャイズ教室の増加により増収を見込む
	クラス指導部門	「大阪市立中高一貫コース」の新設等により、新たな顧客層を取り込む
	保育部門	保育所数の増加による園児数の増加により増収を見込む
	その他の指導部門	「開成アカデミー日本語学校」が開校2年を迎えたことで、2学年の在籍が可能となり、学生数の増加とともに増収を見込む
不動産賃貸事業	入居するテナントの増加により、前期から微増の売上高を見込む	
飲食事業	新規メニューの投入等により集客力を高め、増収を図る	

2019年3月期通期計画

ブランド別売上高

(単位：百万円、%)

	前期実績	当期計画	前期比	増減率
個別指導部門	7,307	7,732	+425	+5.8
フリーステップ	6,538	6,744	+205	+3.1
代ゼミサテライン予備校	542	646	+103	+19.1
フランチャイズ事業	129	196	+66	+51.3
その他のブランド	96	146	+49	+51.6
クラス指導部門	2,946	2,842	△104	△3.5
開成教育セミナー	2,834	2,743	△90	△3.2
エール進学教室	112	98	△13	△12.5
保育部門	639	967	+327	+51.3
認可保育所	265	541	+276	+104.1
小規模認可保育所	373	425	+51	+13.8
その他の指導部門	201	326	+125	+62.2

費用内訳

(単位：百万円、%)

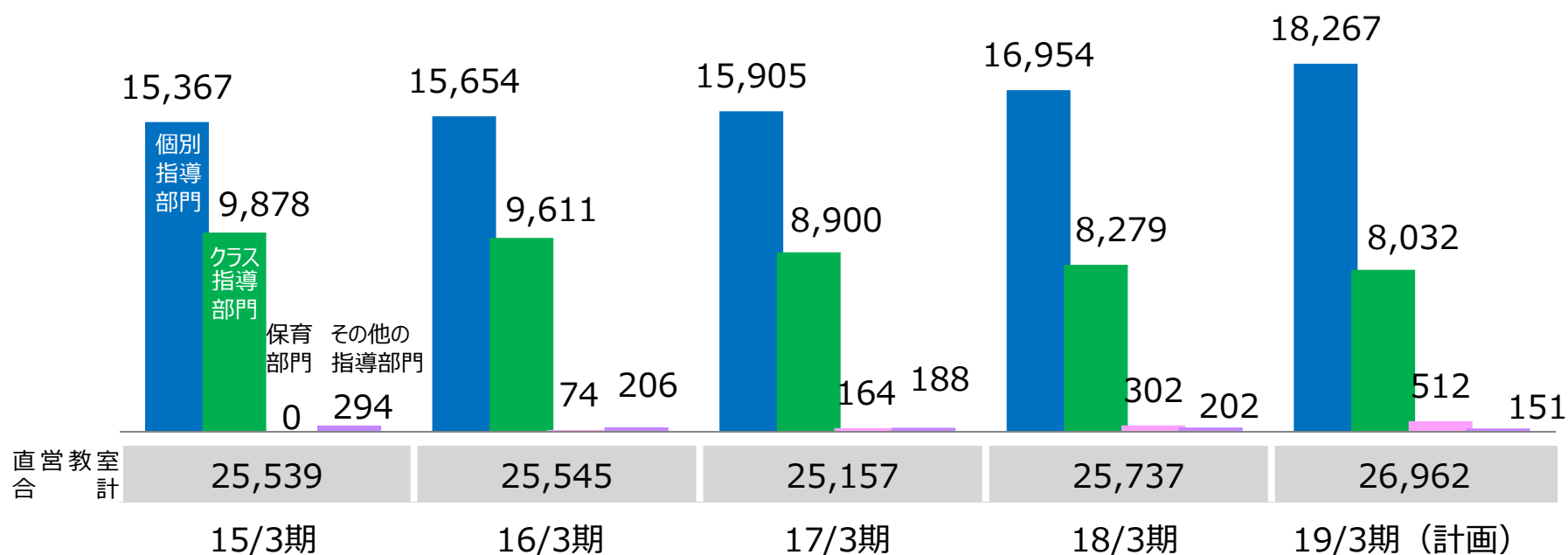
	前期実績	当期計画	前期比	増減率
人件費	6,235	6,643	+408	+6.5
売上高比	55.5	55.2	△0.2	—
家賃	1,496	1,624	+127	+8.5
売上高比	13.3	13.5	+0.2	—
広告宣伝費	564	622	+58	+10.3
売上高比	5.0	5.2	+0.2	—
その他費用	2,926	3,076	+150	+5.1
売上高比	26.0	25.6	△0.4	—
原価・販管費合計	11,223	11,967	+744	+6.6
売上高比	99.8	99.5	△0.3	—

人件費	先行して採用していた人員が売上に寄与することで人件費比率の改善を見込む
家賃	フリーステップを中心とした積極的な教室展開を計画し、家賃比率は多少の悪化を見込む
広告宣伝費	WEB広告の強化、東京エリアでの知名度アップのための広告宣伝活動を展開、訴求効果の高い広告宣伝活動の実施を計画
その他費用	資産投資が比較的多額となる保育所の増加により償却費用の増加を見込む

グループ在籍者数 (例年ピークとなる11月末時点)

(単位：人、%)

	前期実績	当期計画	前期比	増減率
グループ在籍者数	25,737	26,962	+1,225	+4.8
直営教室	個別指導部門	16,954	+1,313	+7.7
	クラス指導部門	8,279	△247	△3.0
	保育部門	302	+210	+69.5
	その他の指導部門	202	△51	△25.2
フランチャイズ教室	1,010	1,464	+454	+45.0



教室展開の状況

	18/3期末	19/3期				計画 3月末
		9月末実績	下期（9月末まで開校決定分）		3月末予想	
			増加	減少		
直 営 教 室 数	256	260	2	0	262	276
個別指導部門	203	202	2	0	204	216
クラス指導部門	101	101	0	0	101	104
保育部門	11	15	0	0	15	16
その他の指導部門	3	3	0	0	3	3
フランチャイズ教室数	24	33	0	0	33	34
個別指導部門	開校余地のある東京都を中心とした首都圏で積極的に新規開校					
クラス指導部門	合格実績等の優位性がある大阪府での営業拠点を拡大					
保育部門	2019年春の開園にむけて活動					
その他の指導部門	「開成アカデミー日本語学校」の2校目の開校にむけて活動					
フランチャイズ教室	教育理念を共有できるフランチャイジーを募集し、教室数の増加を図る					

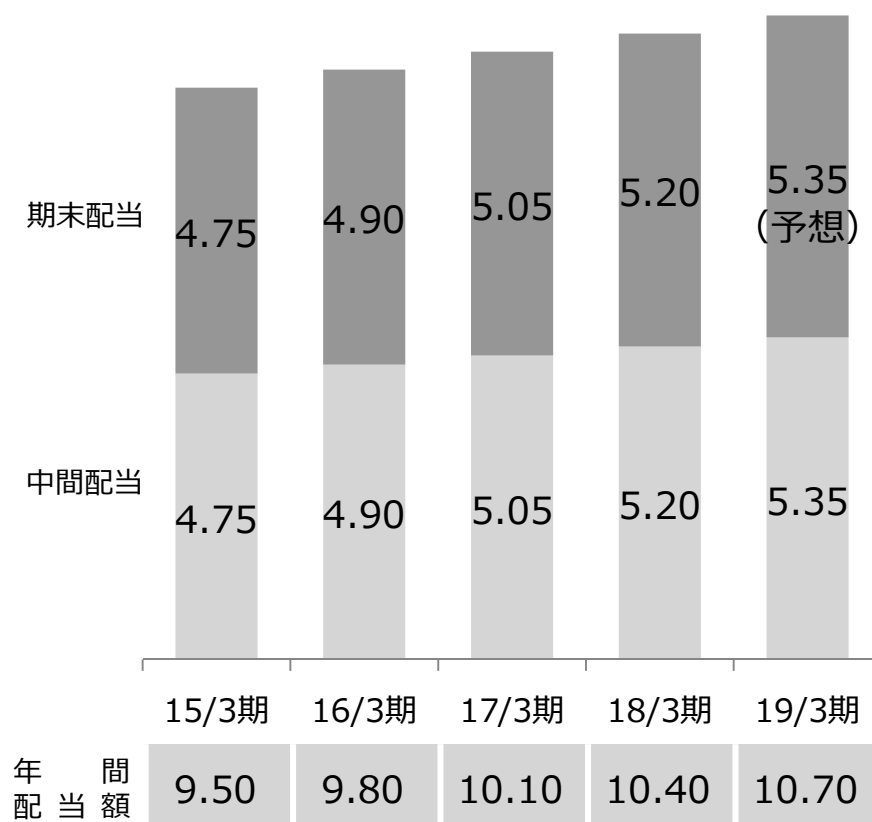
(注) 複数部門の指導形態を開講する教室（併設教室）があるため、各部門の合計と拠点数は一致しません。

株主還元策

還元策1：配当の実施

長期にわたる安定基盤の確立に努めるとともに
継続的かつ安定的な配当を実施

〔1株当たり配当金の推移（円）〕



還元策2：株主優待の実施

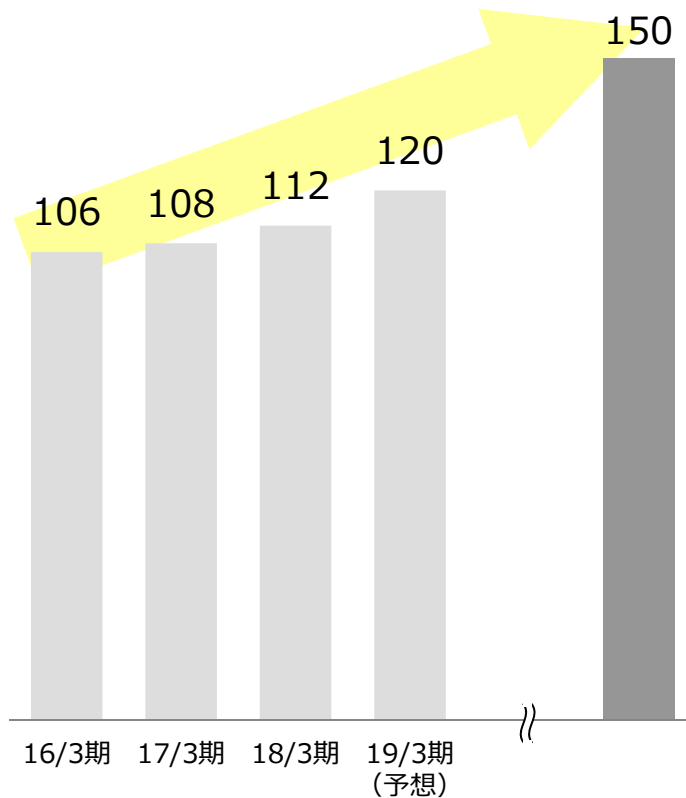
当社株式への投資魅力を高め、
より多くの方を当社株主に

〔株主優待の内容〕

- 対象となる株主
基準日に1単元以上保有している株主
基準日：3月31日、9月30日
- 優待内容
1単元以上保有している株主に対し
一律QUOカード1,000円分を贈呈

連結売上高150億円

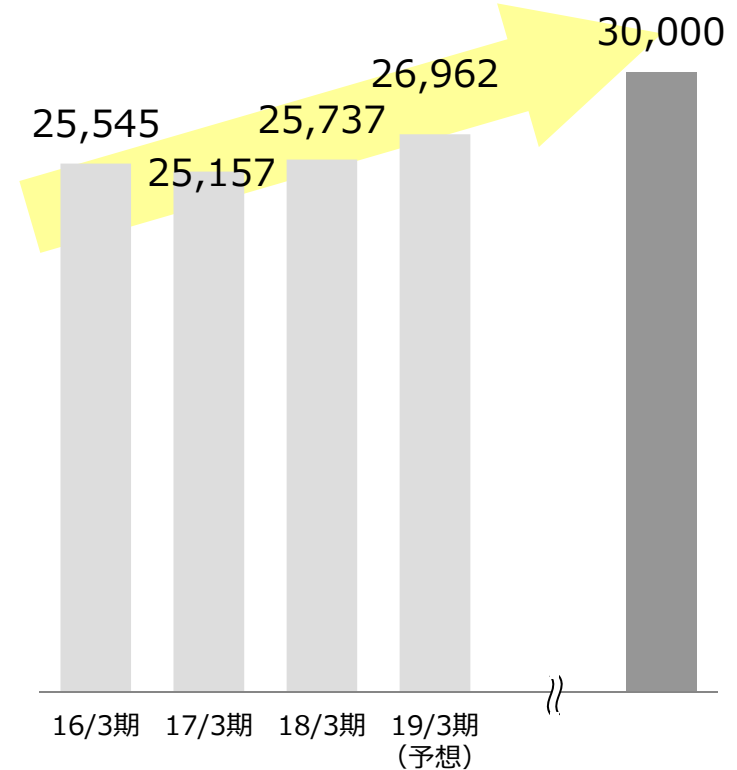
(単位：億円)



- 教育に関連する分野で事業拡大
- 次のステージ連結売上高150億円を目指す

グループ在籍者数3万人

(単位：人) 各年度の11月時点、フランチャイズ教室の塾生は含まない



- 既存ブランドの成長、顧客層の拡大により塾生増加を目指す

大阪市立中高一貫校（公立）にむけた取組み

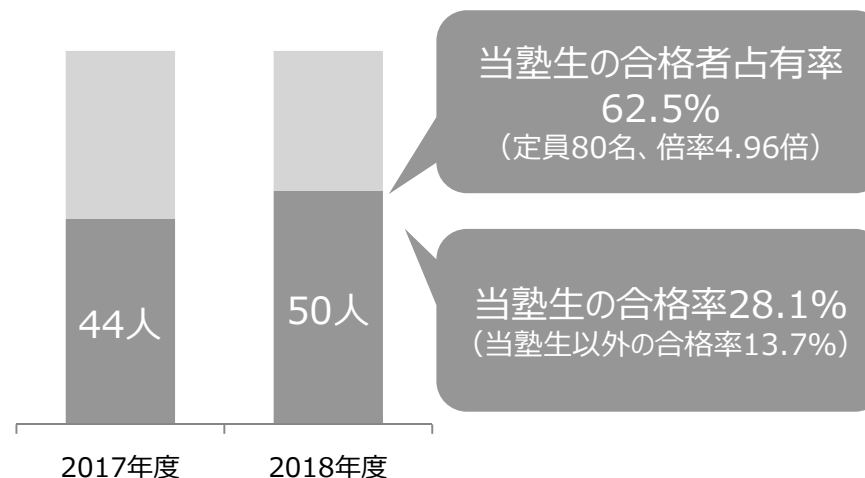
大阪市立咲くやこの花中学校（大阪市此花区）

2008年4月、大阪市内で唯一の併設型中高一貫教育校として開校

早くから興味・関心の現れやすい4分野（ものづくり<理工>、スポーツ、言語、芸術<美術・デザイン>）の才能を6年間の計画的・継続的な一貫教育で伸ばし、大阪の発展を担う将来のスペシャリストを育成

思考力・判断力・表現力重視型の超難関入試で抜群の実績

合格者数の推移



中高一貫校の新設

大阪市立水都国際中学校（大阪市住之江区）

世界に羽ばたき、イノベーションをけん引し、将来の大阪を担っていく人材を育てるために2019年4月に開校予定（定員80名）

全国初の公設民営の中高一貫教育校

外国語教育と国際理解教育に重点を置いた教育を実施、水都国際高等学校では、2023年に国際バカロレア^(※)コースを開校予定

(※) 国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。国際バカロレア（IB：International accalaureate）は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置。

- 中高一貫教育校の入試マーケット拡大
- 優位性を活かし事業取組み

開成アカデミー日本語学校

開成アカデミー日本語学校が適正校として認定されました

2017年4月、法務省の告示認可を受けて、「開成アカデミー日本語学校」を開校

中国、ベトナム、フィリピン等、多くの国の外国人留学生を受入れ

開校から1年超が経過し、大阪入国管理局より平成30年度日本語教育機関の適正校として認定される

「適正校」とは・・・

一定年数経過後の不法残留者の発生率の大小をもって判定し、所管の入国管理局が認定
「適正校」として認定されることで、ビザの在留期間の優遇措置や提出書類の簡素化が可能となる



開成アカデミー日本語学校
(大阪市北区)



浴衣の着付け



自転車安全講習会

- 地元行事等を通じて生きた日本語と日本の文化に接する
- 身近な移動手段である自転車を通じて交通ルールを学び、安心・安全な暮らしをサポート

本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

そのため、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご留意ください。

<問い合わせ先>

株式会社成学社 経営企画部

〒530-0015 大阪市北区中崎西3-1-2

TEL 06-6373-1595 FAX 06-6373-1518